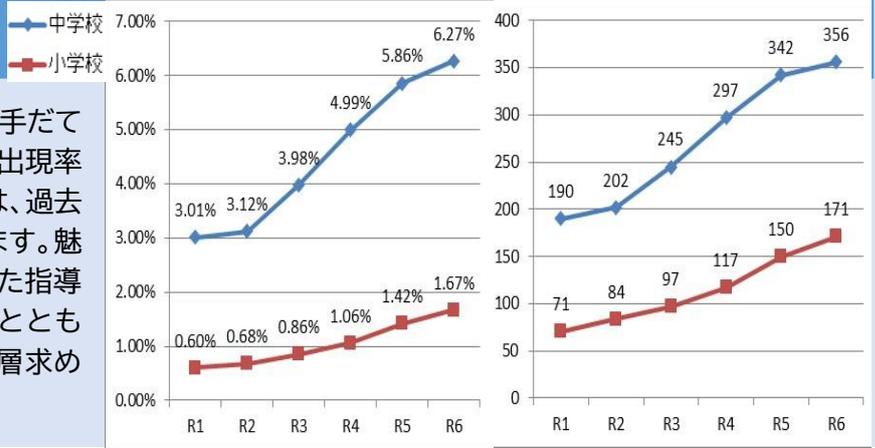


不登校児童生徒への支援の在り方について

不登校児童生徒への支援は、『学校に登校する』という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立する方向を目指すように働きかけることが求められています。本号では、管内の「不登校の状況」についてお知らせし、初期対応の充実と要因分析をもとにした不登校の未然防止について紹介します。

管内不登校児童生徒の推移

不登校児童・生徒に対して様々な支援や手だてを講じているところですが、令和6年度の出現率(右記左グラフ)及び人数(右記右グラフ)は、過去最多であった令和5年度を上回っています。魅力ある学校・学級づくりや学習状況に応じた指導と配慮など発達支持的生徒指導の充実とともに、不登校を未然に防ぐ取組の充実が一層求められます。



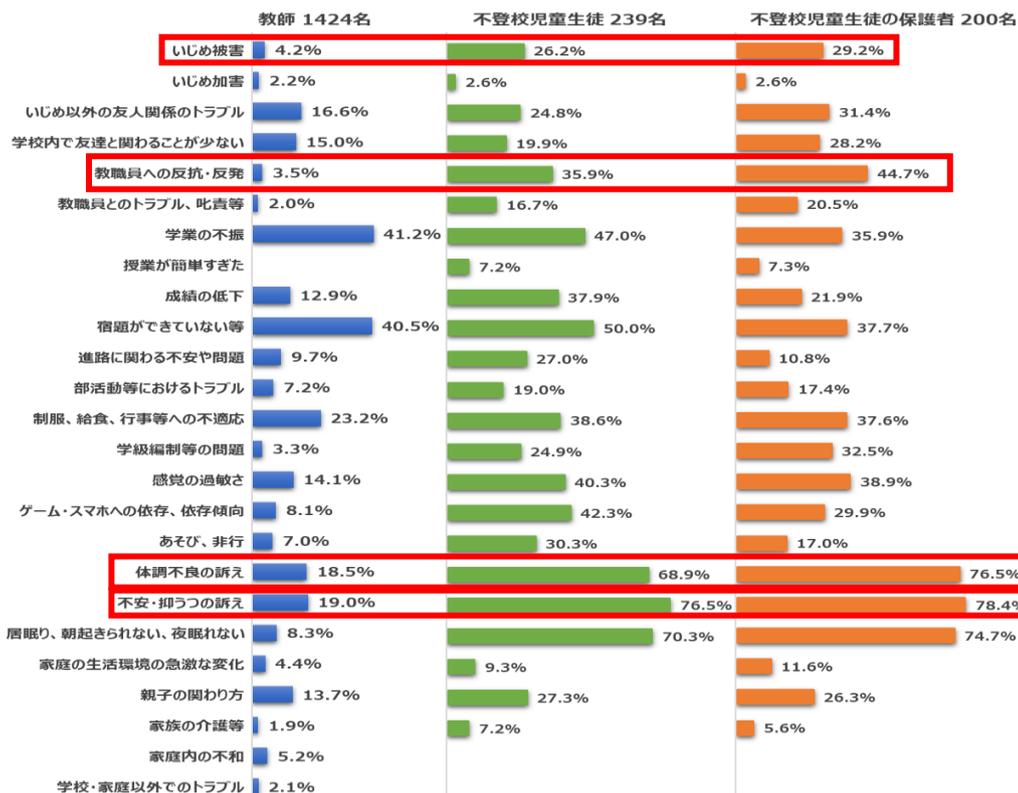
【管内不登校児童生徒の出現率】

【管内不登校児童生徒の人数】

不登校の関連要因について

文部科学省委託事業「不登校の要因分析に関する調査研究報告書」R6.3月

きっかけ要因に関する教師・児童生徒・保護者の回答の比較



左記の結果を見ると「学業の不振」、「宿題の提出」については、三者の回答割合が比較的近い値でしたが、「いじめ被害」、「教職員への反抗・反発」、「体調不良」、「不安・抑うつ」等については、教師と児童生徒・保護者の回答割合に差がみられます。認識や捉えの違いが生まれてしまうのは、児童生徒の声を聴く機会が不足していることや保護者との連携不足等が考えられます。不登校児童生徒が抱える「困難さ」を確実に把握し、適切な支援と早期対応が求められます。

不登校対応① 初期対応の充実を通して、不登校を未然に防ぐ

初期対応の遅れから欠席状態が長期化してしまうと、学習の遅れや生活リズムの乱れ等の複数の要因が生じ、回復が困難になることも少なくありません。たとえ、風邪等による欠席だとしても、欠席1日目から「気にかけている」とメッセージを伝えるなど、速やかに具体的に動くことが大切です。学校の初期対応方針を全職員で共有し、すぐに動くことが大事になります。

- 初期対応方針に沿って、その日（欠席1日目）に速やかに電話をかける、家庭訪問をする
- できる限り、児童生徒の声を聞く、顔を見る
- 学校の様子や情報、心配していることを伝える

【要素1】

欠席1日目からの働きかけ

- 保護者の思いに耳を傾ける
(気になること、心配なこと)
- 学校と保護者との協力関係を結ぶ
- 欠席の要因に応じた支援方法を、共に検討する

【要素2】

保護者との連携

欠席最初期における 重要要素

【要素3】

チームによる対応

- 担任単独ではなく、チームで対応する
- スクリーニング会議(アセスメント)を実施する
- いつ、だれが、いつまでに、何を、どのように等、対応の役割を明確にする

【要素4】

受入体制の整備

- 教育相談体制を整える
- 学習環境(対応場所・指導体制等)を整える
- 欠席の要因に応じた具体策を実行する
- 居心地の良い学級経営に係る体制作りをする

不登校対応② 要因を分析して、不登校を未然に防ぐ

文部科学省委託事業「不登校の要因分析に関する調査研究報告書」R6. 3月

【授業改善・学習支援の充実】

児童生徒が学校で最も長い時間を過ごしているのが、授業です。その授業において、分かるか分からないかは児童生徒にとって切実な問題です。学業不振から学校を通うことが苦痛になり不登校の要因となることもあるため、授業改善や学習支援の充実は不可欠です。さらに不登校予防や支援の観点からは、宿題の在り方について検討を行うことが必要です。

【背景要因へのアプローチ】

障がいや発達特性のある児童生徒や困難さを抱える家庭に、支援が十分届いていない可能性があります。これらは、合理的配慮、特別支援教育をはじめとする、長期間の継続的支援が必要なものです。学校、地域における支援システムの構築、保護者への支援について検討を行うことが必要です。

【体調、メンタルヘルス、生活リズムへの注目】

COCOLOプランでも提案されている1人1台端末を活用した心や体調の変化を早期に発見することが有効です。児童生徒の体調、メンタルヘルス、生活リズムの不調は、不登校のリスクを高める要因であり、教師が観察や児童生徒の訴えから敏感に捉える必要があります。デジタル端末等を活用し、児童生徒の不調に早期に気づく仕組みが必要です。

【学校風土の改善】

学校の風土と欠席日数の関連を示すデータもあり、学校のルール作りに児童生徒が主体的に参加していくことが求められています。学校風土の見える化、校則等の見直しの推進、快適で温かみのある学校としての環境整備など多様性を重んじる時代に応じて改善を進めていくことも必要です。



右記の2次元コードは管内生徒指導研修会で行われた講義(オンデマンド)「通常の学級における特別な配慮を必要とする児童生徒の理解と支援」の講義動画となります。日常の生徒指導への参考資料としてご活用ください。※令和8年3月31日までの配信とさせていただきます。